

昭和館

特別企画展

お菓子の記憶

〜甘くて苦い思い出たち〜



「森永ミルクキャラメル」
昭和14年(1939) 森永製菓株式会社

入場
無料

明治ミルクキャラメル
昭和4年(1929)発売
明治製菓株式会社



2022年
7/16〔土〕～9/4〔日〕

10時～13時30分(入館は13時まで)

14時～17時30分(入館は17時まで)

【休館日】月曜日(7/18・8/15は開館、7/19は休館)

【会場】昭和館3階特別企画展会場

●後援/千代田区、千代田区教育委員会



小供菓子購入票 昭和17年(1942)



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1

TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 <https://www.showakan.go.jp>



<https://twitter.com/showakankudan>



<https://www.facebook.com/showakankudan/>



昭和館 特別企画展

お菓子の記憶

～甘くて苦い思い出たち～



HERSHEY'S 戦後 Hershey Chocolate Corporation



乾パン（復元）



ギブミーチョコレート
昭和20年(1945)9月21日 米国国立公文書館提供

ごあいさつ

菓子は子どもたちにとって日常の中の大きな存在、嗜好品としてやさやかな幸せをもたらしてくれるものです。日本を代表とする製菓会社である森永製菓の創業者・森永太郎は子供たちに幸福と希望を与えるエンゼルをシンボルマークとしました。また、他の創業者たちも、お菓子と子どもたちとの関係性について次のように述べています。

「子供はいつも、オヤツとおモチャの世界にすんでいる」

（江崎利一 江崎グリコ株式会社）

「子供からお菓子を取り去ることは不可能」

（有嶋建助 明治製菓株式会社）

昭和の時代でも現代においても誰の思い出の中にも、お菓子の記憶は存在していることでしょう。

本企画展では、戦前から戦中・戦後のめまぐるしく変化する昭和の時代において、お菓子とその一番のパートナーである子どもたちがどのような道筋を辿ったのかを紹介します。

展示構成

～プロローグ～

I. 戦争とお菓子

II. 終戦を迎えて

イベント情報

▶ 展示解説 担当者による展示解説を行います。

期日 7/24(日)、8/21(日)

時間 14:30～(所要時間 約20分)

場所 3階特別企画展会場



昭和館

〒102-0074
東京都千代田区九段南 1-6-1

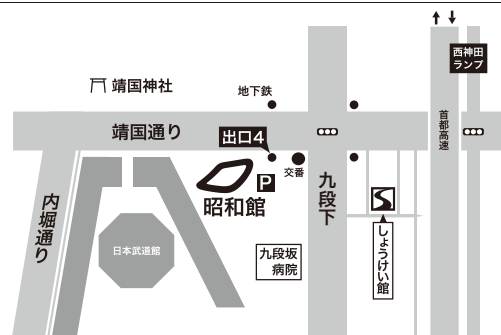
7・6階には常設展示室（高校生以上有料）があります。

【電車ご利用の場合】

地下鉄九段下駅から徒歩1分（東西線・半蔵門線・都営新宿線 出口4） JR 飯田橋駅から徒歩約10分

【車をご利用の場合】

首都高速西神田ランプから約1分（九段下交差点） 有料駐車場（30分200円・普通乗用車のみ）



お問い合わせ先 > 昭和館学芸部 TEL 03-3222-2577